

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 札内川流域地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

- 帯広市 十勝平野のほぼ中央部に位置し、日高山麓の広大な森林と十勝川・札内川に恵まれた、四季の変化に富んだ気候と豊かな自然環境が特徴である。
- 幕別町 近年、都市化の進展や住民生活における所得水準の向上、余暇時間の増大等を背景に、快適な生活環境の形成や自然とのふれあい等を求める住民ニーズが高まるとともに、多様化している。
- 中札内村 村の河川は、十勝川水系で十勝川を經由して太平洋に注がれている。また、日高の山並みや清流日本一の札内川が育む河畔林など自然環境に恵まれており、住民や訪れる人にうおいと安らぎを与えている。
- 更別村 村内の河川は、概ね南北方向に緩やかに猿別川に合流し、十勝川を経て太平洋に注がれている。一部に原生林をとどめる地域もあり自然環境保全地区として周辺用地を購入し環境保全に努めている。

【課題】

- 帯広市 すぐれた自然、残された自然の保全とともに、自然と共存したよりよい生活環境の整備、自然を活用した開発計画、自然環境の再生復元が課題である。
- 幕別町 郊外部に連続する丘陵地帯では、降雨時の出水による被害が多く発生しており、樹林地の保全と排水の整備が必要である。
- 中札内村 近年の経済最優先の社会構造により生活雑排水などの流入によって汚染が進み浄化対策が緊急の課題となっている。
- 更別村 農村空間を活用して地域に根差した個性的な環境づくりが課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

- 帯広市 生産を支える場としての機能を維持するとともに、生産基盤の整備を行うにあたっては、自然に配慮した工法を積極的に採用し、環境と調和した農業の展開を目指す。
- 幕別町 雄大な景観と多様な生物が生息する良好な自然環境を保全・配慮しながら農村部の生活環境整備や農業基盤整備を積極的に進める。
- 中札内村 親水機能や景観に配慮した整備、自然・生態系や自然浄化の維持等にも配慮した自然調和型の河川改修を目指す。
- 更別村 親水機能・景観性を保持し、自然生態系や自然浄化力の維持に配慮しながら自然と共生した農業基盤整備事業を展開していく。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

- 調査位置の考え方
本地区の整備内容は、「頭首工の改修」、用水路の「改修」及び「新設」であり、その整備が環境へ与える影響に着目して、調査位置を「農地エリア」、「森林エリア」、「水辺エリア」の3つに区分し、それぞれの環境区分において調査位置を設定した。
- 調査項目の考え方
既往調査結果の活用を基本とするが、本事業で想定している整備により直接影響を与えると想定される項目については現地調査を実施する。

《環境調査内容》

- 調査項目 ①植物 ②水質
- 調査方法 植 物： 植物相調査
水 質： SS、濁度